

科目名	情報システム技術	科目分類	■ 専門科目群 (第1グループ) □ 総合科目群 (第2グループ)	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Information System Technology	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位	
授業のテーマ	ネットワーク技術の基礎とデータベースシステムの概念や基礎理論の習得			
授業概要	ITが社会基盤となり、ITなくしては企業活動や組織活動ができない社会となってきました。このITの要になっているのがクラウドコンピューティングとデータベース技術です。前半はMicrosoft Access2010の基礎と実習をとおして、RDBについて学習します。後半は、基本的なネットワークの仕組みや概念、最新のクラウドシステム、データベースシステムの概念と仕組み等を学習します。			
到達目標	ネットワーク技術の基礎とデータベースシステムの概念や基礎理論を理解できる。 Microsoft Access2010を利用して、簡単なデータベースシステムを構築できる。			
授業時間外の学習	専門的な言葉が多く出るので、必ず復習をしてから、授業に備えてください。			
履修条件	コンピュータ入門、情報科学の単位を修得していることが望ましい。 経営情報Iを受講する学生は、必須。			
授業計画				
第1回	データベースの概念とデータベースシステムについて (目的、モデル、スキーマ)			
第2回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (DBの構成要素と基本操作)			
第3回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (DB設計と作成の流れ)			
第4回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (テーブル作成)			
第5回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (テーブル作成、リレーションシップの作成)			
第6回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (クエリ作成)			
第7回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (フォーム・レポート作成)			
第8回	Microsoft Access2010の基礎と実習 (便利な機能)			
第9回	データベースの概念とデータベースシステムについて (DBMS)、まとめ			
第10回	ネットワークの概要 (LAN、WAN、クライアントサーバー等)			
第11回	OSI 基本参照モデルと TCP/IP			
第12回	インターネットの仕組み (特徴、接続技術サービス、接続方法等)			
第13回	インターネットの仕組み (IPアドレス等、Webの舞台裏、メールの舞台裏)			
第14回	クラウドコンピューティングについて			
第15回	まとめ			
第16回	試験			
テキスト	FOM出版 Microsoft Access2010 基礎 (本体2,000円 税別)、プリント			
参考文献・資料	実教出版 基本情報処理技術者テキスト ネットワーク技術、データベースとアルゴリズム 日経パソコン			
成績評価の方法	試験 50%、演習課題 20%、実習課題 30%、総合的に判断します。出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	毎週金曜日 10:40~12:10、13:00~14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。			

学生への
メッセージ

Microsoft Access2010 の基礎と実習を学習することにより、データベースシステムをしっかりと理解できるようになります。